

シルバーきりゅう

第43号



7/2 写真クラブ撮影会
太田市吉沢ゆりの里にて

社団法人 桐生市シルバー人材センター

平成22年度第2回通常総会

平成23年3月25日（金）桐生市中央公民館 403・404 会議室において平成22年度第2回通常総会が開催され、平成23年度事業計画案並びに収支予算案が承認されました。また、議事終了後は安全就業に関する講演会が行われました。

ガソリン不足、また暖房もエレベーターも停止のなかでの開催でしたが、多くの会員さんが熱心に最後まで参加されました。

平成23年度第1回通常総会

平成23年5月27日（金）桐生市市民文化会館小ホールにおいて平成23年度第1回通常総会が開催され、平成22年度事業報告・決算報告、役員を選任案、公益社団法人移行関連議案、顧問の推挙のすべての議案が承認されました。

なお、議事に先だち41名の会員さんが表彰されました。おめでとうございます。

また、総会終了後行われた平成23年度会員互助会通常総会では、東日本大震災でお亡くなりになられた方へ黙祷を捧げた後、平成22年度事業報告・収支報告、平成23年度事業計画案・収支予算案、会則の一部変更案がすべて承認されました。



理事長挨拶

本日は県知事はじめ来賓のご出席を頂いての総会となりました。お忙しい中有難うございます。前年度より順調にきました運営も、3月の東日本大震災により桐生市内でも被害を被り、23年度のシルバー事業も大変厳しい幕開けとなりました。しかし永く培った豊富な経験やそれぞれに能力をお持ちの会員さんがそろっていますので、この事態を切り抜けて行ける事と思います。私たち役員も就業開拓委員を中心とし役職員が一丸となって積局的な就業機会の確保を図り、事業推進してまいりたいと思います。会員さんにも更なるご協力をお願いします。又公益法人への移行につきましても、全国シルバー人材センターの状況並びに社会全体の流れをふまえ、当センターとしましても群馬県シルバー連合会並びに県内のシルバー人材センターと連携をとりながら、公益法人移行にむけた対応を行っていきたいと思います。

公益社団法人へ移行します！

平成23年5月27日の通常総会において、公益社団法人への移行関連議案がすべて議決されました。

今後は平成24年4月1日の移行登記を目指して、認定申請の準備を進めてまいります。

公益認定機関の厳しい審査を受け、公益社団法人として認定されることにより高い信頼を得ることができ、従来以上に地域社会からの幅広い理解と協力が期待できますが、活動内容等の評価もされることとなります。

今後も地域社会のニーズに答えられる公益性の高い事業展開を行ってまいります。

— 今後の移行スケジュール(予定) —

平成23年 6月～10月 移行認定申請準備
10月 行政庁（群馬県知事）へ申請書を提出

公益認定等審議会
審査・審議
↓
答申
↓
認定

平成24年 4月 1日 特例民法法人→公益社団法人の移行登記

独自事業の近況



桐生シルバーふれあい農園

農園の会員の皆様大変お世話になりました。

お蔭様で初年度事業が無事終了できました。振り返ってみますと一年間の検討委員会で独自事業として、ふれあい農園が発足した訳ですが専門の指導者が当初おらず、果たしてこの先うまくいくか不安一杯での出発でした。

しかしながら、ふれあい農園の会員30名の皆さんは見事にやってのけてくれました。作業上や管理上わからない点も事務局や仲間たちと話し合い知恵を出し合い解決へと導きました。初年度のため雑草の繁茂やイノシシ対策、C農地の大石、A農地が水田の為さつま芋の栽培に適さない等が散見されましたが、会員一丸となってくれたお蔭でさつま芋《食用・加工》、ソバを生産し会員の協力を得て完売しました。

メイン事業の収穫体験では、ボーイスカウトの皆さんによるさつま芋堀を実施しました。ソバ打ち体験では新里町のさくら苑でのソバ打ち試食体験、シルバー祭りへの参加等大好評のうちに終了しました。

平成23年度は栽培作物を追加し、玉ねぎ・大根を現在進行中です。今後とも会員の皆様の協力をお願い致します。



シルバーさぼりと隊

サポート隊が発足して早くも2年目に入りました、その間沢山の種類の依頼があり、例えば水道パッキンの交換、ミシンの移動、植木鉢の植え替え等数多くの注文がありました。その都度工夫をして依頼者のニーズにあう様に会員共々努力しています。その中でもとりわけ思い出深いのは犬の救助と風呂場浴槽の上にある蛍光灯の交換で、特に感謝されました。作業後の隊員の気持ちは「やりがい」と言う心で満たされていた様です。これからもサポート隊を頑張ってやらせて頂き依頼者の喜ぶ笑顔が沢山見たいものです。



手づくり工芸品販売事業

3月11日の東日本大震災の影響により、今だ「桐生織物観光センター」での販売が中断しており、「道の駅くろほね・やまびこ」での販売となっております。

手づくり品は布ぞうりをはじめ、布ぞうりストラップ、アクリルたわし、イグサコースター、陶芸品、ニット帽等多くの種類が出品されてます。

新しく出品を希望される会員さんは、事務局までご相談ください。

サークル紹介 サークル会員募集中です！

★ ボランティアクラブ

会長 池田 精一

平成 21 年 1 月 22 日に発足した当クラブは、清掃、福祉、災害その他仕事を優先しつつも都合をつけて参加し微力ながら地域社会に貢献できる幸せを実感しています。会員の皆さん、ボランティアクラブに是非入会して下さい。あなたが 5 歳若くなりますよ。



★ GG 愛好会

会長 深沢 照男

会員数 36 名で毎月第 2・4 土曜の 13:30 から試合開始です。

楽しく遊べるこの競技は立ちあげて 3 年経ちます。その間のみどり市との交流大会や互助会による大会等色々な催しを行っております。時々シルバークラブ独特な妙技や冗談も飛び出します。

入会したその日から正選手に登録できます。皆さんも是非一緒にやってみませんか。



★ 書道クラブ

代表 皆川 一郎

平成 21 年 4 月 20 日に発足した当クラブは、その道では知る人ぞ知る松井祥仙先生指導の元毎月第 1, 3 月曜日が練習日でした。残念な事に松井先生は今年 2 月にお亡くなりになりましたが、先生のご遺志を継ぎ現在 7 名の会員が練習に励んでおります。また練習の他にも懇親会、食事会等交流も図っております。

シルバー会員の皆さん、是非ともご入会ください。お待ちしております。



★ 写真クラブ

会長 田村 陽子

しばらく活動もなく、さらに今年は文化祭も中止になり一寸力が抜けてしまいました。現在 7 名の会員がおります。過日思い切って太田市吉沢ゆりの里に出かけました。目をみはるばかりの素晴らしい光景に夢中にシャッターを切る皆さんの傑作が楽しみです。

作品を持ち寄って勉強する事も大切です。現在会員募集中です。



★ 手作りの会

会長 山形 高子

現在、毎週水曜日午後 1 時 30 分から会員が集まり、様々な作品を作成しております。作品は桐生駅なか市等で販売もしています。また、センターの独自事業である「手づくり工芸品販売事業」への出品の為に製品作成のノウハウを習得することもできます。

会員の皆さん、これから一緒に物作りをやってみませんか？

入会お待ちしております。



◆安全・適正就業委員会より

委員長 河内 利夫 以下委員 10 名

「無理せず健康に留意して安全就業第一」に心掛けてください。
就業にあたっては、これからの季節暑さ対策に注意し、安全基準を守ってください。

●安全心得 10 ケ条

- 一 作業は、安全第一を心掛け、急いだりあわてたりしないこと。
- 二 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 三 服装・履物は、作業にあった動きやすいものにする。
- 四 作業前に、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- 五 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- 六 共同作業は、合図・連絡を正確に行うこと。
- 七 作業現場は、常に整理整頓に心掛けること。
- 八 酒気を帯びての就業は、絶対に慎むこと。
- 九 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 十 仕事の前日は、十分睡眠を取るよう心掛けること。

●安全保護具

高所作業に従事する場合は、必ず安全帽（ヘルメット）を着用するとともに、必要に応じ命綱を使用すること。

●交通災害の防止

会員は仕事場との往復時は交通ルールを守ると共に、交通事故に注意しなければならない。特に自動車やバイク、自転車にあつては十分注意して運転しなければならない。

(社) 桐生市シルバー人材センター安全就業基準より

注意 「熱中症に注意しましょう」

今年度は6月から真夏日を記録しています。

- 1) こまめに水分・塩分をとり、仕事を始めるまえから、スポーツドリンクや食塩水等で補給する。
 - 2) 休憩は風通しの良い涼しい場所で。
 - 3) 睡眠不足疲労は大敵、寝不足や二日酔いなどは熱中症のもと、暑くて食欲が落ちる時期でも、食事をしっかりとることが大切です。
 - 4) できるだけ涼しい服装を。屋外での作業にはつばの広い帽子を着用する。
 - 5) 吐き気がする、頭が痛い、呼吸が速い、唇がしびれる、反応が鈍る、言動がおかしい、脈が速い、弱い、めまいがする、筋肉に痛みとけいれんがある。
- ★熱中症だとおもったら、すぐに救急車を呼ぶか医者に診てもらいましょう。

◆就業開拓委員会報告

委員長 泉 昭平 以下委員 2 名

22 年度に独自事業がスタートしたのを受け、手作り品販売先の広沢町の織物観光センターと黒保根町の道の駅やまびこの売れ行き状況を巡回視察し、諸問題の対策等協議を行いました。今年度はその成果を上げるべく、独自事業の充実に向けて委員一同努めて行きたいと思っております。

お仕事拝見

●内職

細かい作業で、数が多く納品日が決まっているので大変ですが、「こうして一緒に仕事ができる事が楽しみです！」との明るい笑顔でした。



●駐車場管理

桐生厚生病院は、遠くの地域からも多くの方が来院されるので、スムーズに気持ちよく利用していただけるように心掛けて業務にあたっていますとのことでした。



支所の近況



新里支所

平成17年に桐生シルバー人材センターと統合して、早いもので7年目になり桐生の会員の皆さんとも、ふれあい農園・互助会・グランドゴルフその他色々な面で親睦が深められました。新里地区は赤城南麓に広がる豊かな自然に恵まれ南は伊勢崎市赤堀に接するカリビアンビーチと広域清掃センター及び福祉センターまで縦長な地形に重要文化財の山上多重の塔など先人たちが築いた業績が、文化財としてその歴史をものがたっております。

さて新里支所の近況ですが現在会員数65名で平成23年度の会員の傾向としてはベテランの方が引退し新人の方が沢山入会しました。仕事の内容としては草刈り機による刈り払いと草むしり等です、また今年は植木の剪定が増えてきました。

他には役所の当直・会社の清掃等が主なものです。これからは仕事面でも桐生本部と一緒にできる事を望みます。これはなお一層の親睦を図るためです。健康管理をしながら生きがいを求め社会の一員として作業を通じて社会に貢献できるよう頑張りたいと考えます。



黒保根支所

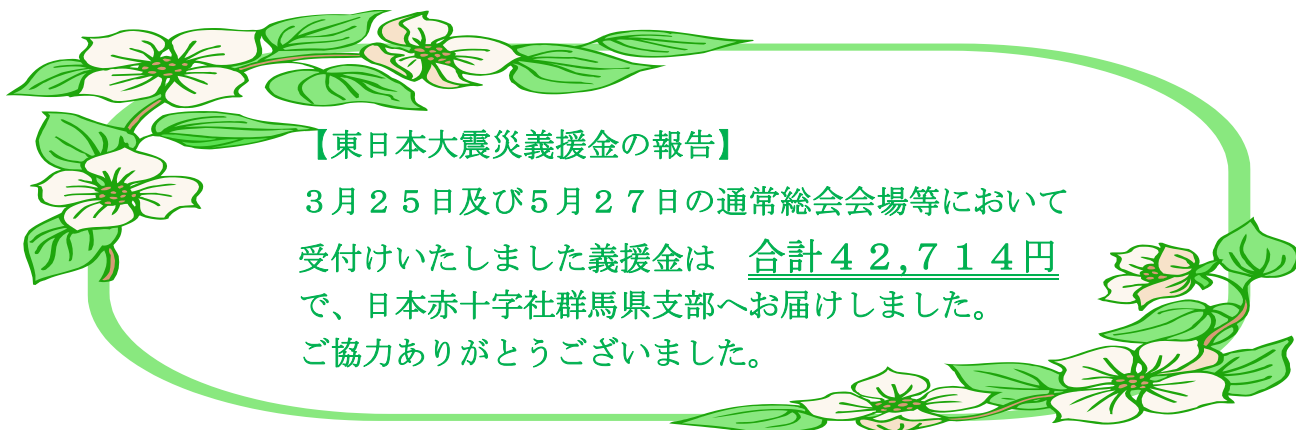
黒保根支所も、精鋭たちが日々連携を取りながら業務に励んでいます。

21年度から毎年右肩上がりの実績を誇り素晴らしいチームワークとロコミによる新規顧客獲得もありました。何よりは就業中の安全対策です。去年は支所が企画して刈払機取扱安全教育講習会を開催しました。受講するためには、受講料1万円を自己負担しなければなりません、熱意ある11名の方が資格認定証を受け取りました。受講された会員に話を伺うと「作業上の安全や機械の分解修理など、とても参考になった」との事です。会員自ら安全対策に心がけ、会員の勧誘、新規の顧客の獲得などそれぞれの皆さんが行動を起こし進んでいる状況です。

リサイクル友の会

去る平成21年6月25日に再生可能なゴミを集団回収する事により、ゴミの減量化を図ると共に資源を有効に活用し環境問題の意識向上を目的としてこの会は発足し2年が経過しました。会員の皆様には新聞紙、段ボール、雑誌、スチール缶、アルミ缶を持参して頂き、ボランティアクラブの会員が処理にあたりました。なお新里・黒保根支所の協力分も含まれております。そしてこの資金の使途については会員の為の活動助成として互助会で検討致します。こうした集団回収によるゴミの軽量化、資源の有効活用を継続的に実践する事により群馬県が地域温暖化対策に取り組む「ぐんまスタンダード」制度にも関わることになり、環境問題への意識も高まる事と思います。会員の皆様の継続的なご支援をお願い致します。尚、現在の収入状況は下記の通りです。

21年度・43,368円 22年度・80,893円 合計124,261円



【東日本大震災義援金の報告】

3月25日及び5月27日の通常総会会場等において
受け付けいたしました義援金は 合計42,714円
で、日本赤十字社群馬県支部へお届けしました。
ご協力ありがとうございました。

3月31日付けで、本部業務担当・高橋京子さんが退職しました。

長い間大変お世話になりました。



会員のお悔やみ

久保田 一昭 さん (境野町)
平成23年5月20日
新井 厚史 さん (相生町)
平成23年6月12日



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

3月の東日本大震災と原発事故発生以降自粛ムードの中暗い話題の多い毎日ですが、シルバー広報はなるべく楽しい記事をこれからも数多く載せていきたいとおもいます。

星野・鷹野・藤井・針谷

シルバーきりゅう 第43号
平成23年7月25日発行

編集発行
(社) 桐生市シルバー人材センター
広報委員会

桐生市美原町5番3号
TEL 0277-43-9161(代) FAX 0277-43-9162